

いわて東北メディカル・メガバンク機構 研究計画書(概要)

研究番号	2022-3011	研究題目	糖尿病患者におけるグリコアルブミン値に関連する遺伝子解析		研究期間	2018.9.1～2026.3.31
実施責任者	石垣 泰	所属	岩手医科大学医学部内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌内科分野		職位	教授
研究目的	東北メディカル・メガバンク計画参加者1万人のゲノムデータを用いた全ゲノム関連解析により明らかになった日本人におけるグリコアルブミン値関連遺伝子多型が、実臨床においても検査値に影響を及ぼしているかを糖尿病患者で検証する。					
研究計画概要	<p>糖尿病の管理は現代の医療における重要な課題である。日常診療における糖尿病コントロールの評価はヘモグロビンA1c(HbA1c)を基準にすることが多いが、HbA1cは過去2か月のコントロール指標で貧血や肝障害などの影響を受けることが問題視されている。一方でグリコアルブミン(GA)は、過去2週間の血糖コントロールを反映することから、わが国の日常診療でも徐々に広がりを見せている。</p> <p>申請者らは東北メディカル・メガバンク計画の震災からの復興に資する解析研究において、参加者のゲノムデータを用いた遺伝子多型の全ゲノムメタ解析を行い、GA値に関連する3ヶ所の遺伝子多型を同定した(GCKR; rs1260326, FAM60A-DENND5B; rs11051396, RPS11; rs2280401)。</p> <p>これらの遺伝子多型が糖尿病患者のGA値に及ぼす影響を検討するために、臨床的にHbA1c値に比較してGA値が異常高値を示す糖尿病患者を対象に検討したいと考えた。具体的には、対象患者100例とコントロール(GA値とHbA1c値に乖離がない)200例の血液から採取したDNAを用いて、これらGA値に関連する3ヶ所の遺伝子多型を外部検査機関に委託し解析する計画を立てている。得られた結果につき、いわて東北メディカル・メガバンク機構に相談し、助言をいただく形で共同研究を行いたいと考えている。</p>					